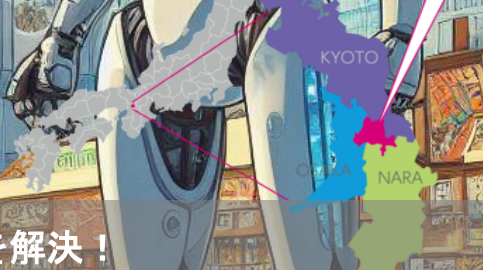


ミライ

先を一緒に創りましょう。

Global Hub KEIHANNA / けいはんな学研都市



世界と京都を繋ぐハブとなり、社会課題を解決！

四季折々の自然豊かな国、日本。中でも関西は、現存する世界の王室の中で最長の皇室を支えてきた地として、日本独自の文化芸能、伝統工芸を育むとともに、それらを基盤に学術研究、先端産業を切り開いてきました。特に関西の3府県にまたがる緑豊かな京阪奈丘陵付近は、740年に「恭仁京」が置かれ、わずか3年強の間に「墾田永年私財法」を定め、「国分寺建立の詔」や「大仏造立の詔」を打ち出すなど、日本の文化・社会の基盤を築いた地でありました。そんな京阪奈丘陵に、関西文化学術研究都市整備促進法に基づく国家プロジェクトとして整備・振興を進めているのが「関西文化学術研究都市（愛称：けいはんな学研都市）」です。

まちづくり



ハードインフラ
先進モビリティフィールド 約50ha×4か所整備中



コミュニティインフラ

文化産業振興



けいはんな発 ロボットチーム
Robot-hill/SmartCity
けいはんな発 スタートアップ ロボットの市場導入
けいはんな発 パーティクル プロダクション
ビッグデータ活用プラットフォーム



学研フードテック 共創プラットフォーム
Foodtech-hill/Wellbeing
スマートライフサービス

人づくり 国際交流



インキュベーション



交流基盤



国際連携基盤

「けいはんな万博2025」を契機に次なるステージへ！

現状	外部環境／都市の課題	今後の対応
「実証のまち」 「産学公住文の集積」 ○学(研究) 研究者等10,000+ ○産(開発) 立地企業等155+、入居170+ ○公(実証) Smart City Expo来場12,500+・出展85 BigDate Platform170+、 ロボット技術センター利用850+ K-PeP公道走行実証実験30+ ○住(実装) 住人250,000+ 実証参加会員3,400+ ○文(発信) 文化的資源多数	人口減少 ／ 交通インフラ 不十分 高齢化 ／ 都市老朽化 グローバル化 ／ 文化資源 活用不十分	先端技術 プロジェクト 「 けいはんな万博2025 」 会期:2025年4月～10月 会場:学研都市全体 文化・国際交流 イベント
		「実装のまち」 (POST万博シティ) 「交流のまち」 (都市リノベーション) 「地域資源育成シティ」 (国際人材育成 エコシステム)

「けいはんな万博2025」プロジェクト・イベント提案募集中！

先端技術プロジェクト

⇒「学研ならではの」先端テクノロジー

- ・リモート操作ロボットによる買い物競争
- ・衛星通信を用いた道路埋設水道管点検
- ・街を歩きながら無線でスマホ充電
- ・学研立地企業の低温エネルギーでCO2空気回収
- ・サステナブル産業(京都・パリ・アブダビ連携) 等

文化・国際交流イベント

⇒「お祭り」として集客に繋がるイベント

- ・未来食レストラン
- ・健康データに応じた買い物ポイント付与
- ・きょうと国際学生サミット
- ・けいはんなみゅーじあむ
- ・アラビアン・ルネッサンス等

先端技術インフラ

けいはんな先進モビリティフィールド (2024年6月補正予算確保)



自動運転やロボット等の実装に必要な、センサー・通信プラットフォームを精華大通を中心に整備

文化発信インフラ

けいはんなみゅーじあむ 【企画・交渉中】

学研エリアの新たな文化発信拠点を育てる。

進出用地・インキュベーション



- (1)南田辺西1期約48ha(府・フジタ)
⇒2027年度から順次完成予定
- (2)粕田西1期約42ha(近鉄不動産)
⇒2028年度完成予定
- (3)粕田東約50ha(京阪電鉄不動産)
⇒2024年度完成予定
- (4)木津東約55ha(組合・日本エスコン)
⇒2029年度完成予定



- (1)けいはんなプラザ(精華町)
ベンチャーセンター平均3万円/32㎡・月
スタートアップルーム4.5万円/約40㎡・月
- (2)KICK(精華町)5万円弱/約30㎡・月
(シェアードオフィス8千円弱/月)
- (3)D-egg(京田辺市)6万円弱/約20㎡・月